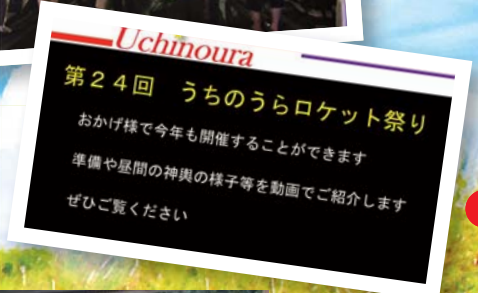


地域を
変える
チカラに

地域おこし
協力隊

活動報告



近藤 千恵子さん



園田 欣大さん

肝付町に来て初めての夏は、お祭り・イベントが盛りだくさんで、気がつけば季節は秋でした!!

『国見よかところ納涼祭』(8/18)は、もともと国見の子供たちと地域住民との交流のために行っていた「そうめん流し」を、2年前に発足した『くにみ楽 Cafe & Bar 会議 (未来を語る若者会議)』が、「夏まつり」に拡大したイベントです。私も声をかけて頂き、この会議に参加しています。今年は初めて本城集落センターで開催とのこと。本城シンボルの大銀杏と涼しげな青竹がマッチしてよい雰囲気を出していました。地域の方が朝から集まり作った約30mの『そうめん流し』、この日のために練習してきた出し物、手作りジャムで作ったフルーツピア、もちり汁やバーベキューなどの屋台も大好評でした。また、ご年配の方の記憶をもとに本城八月踊りも復活。お祭りのフィナーレの花火では長いそうめん流し台が『ナイヤガラ』に変身!! 子供から大人まで皆が楽しめるようにと、色々と思いを凝らした心温まるお祭りでした。

12月23日に行われる竹灯籠のイベント『Tanochiku (楽竹) Night』も楽しみにしています。

この号が出る頃はすっかり秋だと思いますが、少しさかのぼって、この夏に一番力を注いだ「うちのうらロケット祭り」について書きます。

内之浦の夏祭りは、一時中断していた頃もありましたが復活して今年で第24回となりました。地域や協賛会社などに支えられ、内之浦創星会をはじめとした実行委員会によって運営されています。

私はまだ今年で3回目の参加になりますが、3回のなかでも毎年少しずつ内容が変わっています。皆さんに楽しんでもらえるよう、話し合いを重ね、予算や時間の制約のなかで工夫や改善を毎年行っています。今年私が関わったものとしては、祭りの準備や神輿巡行を撮影し、動画編集して会場で流しました。概ね好評のようで良かったです。

伝統や行事が続いていくことは、本質的な良さは残しつつ、このような工夫・改善が続いていくことだと思います。毎回同じだと、やる人も観る人も楽しめないですね。

今後も地域行事は予算や人員の制約が厳しくなると思いますが、知恵を絞って楽しみながら未来に繋げていけたらと思います。